



Corporate Communications



2022 年 12 月 23 日

ビー・エム・ダブリュー株式会社

エムケイ株式会社

東京エムケイ株式会社

MK タクシーが BMW の電気自動車、BMW iX と BMW i7 を導入し、本日より稼働開始

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：クリスチャン・ウィードマン、以下、BMW ジャパン）と MK タクシーを運行する MK グループ二社（エムケイ株式会社（代表取締役：青木 信明、以下「京都 MK」）、東京エムケイ株式会社（代表取締役：松原 京美、以下「東京 MK」）、以下二社を示す場合は「MK タクシー」という）は、BMW ジャパンの電気自動車である BMW i7 および BMW iX を導入し、京都 MK は貸切専門のハイヤーとして BMW i7 を 10 台、BMW iX を 5 台、東京 MK は BMW i7 を 20 台、本日より順次稼働を開始する。

MK タクシーでは、京都 MK で 2019 年に BMW 7 シリーズを 15 台導入し、現在もタクシーとして 11 台稼働している。今回改めて、BMW の電気自動車を導入した背景には、乗客にラグジュアリーで革新的なクルマ体験を提供したいという思いがある。東京 MK でもお客様やドライバーの安全と脱炭素社会の創造など、都市交通改革を目指す我々に必要な導入であると考えている。BMW ジャパンは、ブランドスローガンである「駆けぬける歓び」のもと、これまでもさまざまなドライビング体験を提供してきた中、より多くの人々に最先端の電気自動車を体験いただくことを期待している。2019 年に続き、同社のラグジュアリーかつ最先端のクルマをタクシー利用者にも提供することとなった。国際会議などハイヤー車両が活躍する場面で、SDGs の観点から電気自動車の需要が伸びることを期待している。

今回は全車両が電気自動車の導入となる。BMW グループは、2030 年までに全世界の販売台数以上を電気自動車にする、という目標に向けて、次々と新モデルを発表していく。国内では、2021 年に発表した BMW iX および BMW iX3 を皮切りに、今年は BMW i4 および BMW i7 を発表した。来年以降も引き続き、さまざまな電気自動車のローンチを予定している。また、京都 MK は、2025 年に保有車両の 30% を電気自動車とし、2030 年までに全車電気自動車を達成することを目指している。東京 MK は 2025 年までにドライバー疲労軽減を目的に全車をレベル 3～4 を想定した自動運転機能を搭載した車両にすることを目指している。

BMW iX について

SAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）をベースに、コンセプト、デザイン、パワートレイン等全てにおいて、BMW が次世代を見据えて開発したモデル。サステナブル（持続可能）であることを目的に、パワートレインには電気モーターを採用し、大型のリチウム・イオン・バッテリーを搭載した、長距離走行を可能とした次世代電気自動車である。BMW iX には 3 つのモデルがあり、満充電にて、BMW iX xDrive40



Corporate Communications



は 450km、BMW iX xDrive50 は 650km、BMW iX M60 は 615km の走行が可能である。

詳細 : <https://www.press.bmwgroup.com/japan/article/detail/T0320553JA/the-first-ever-bmw-ix>

BMW i7 について

完全電動ラグジュアリー・セダンとして登場。電気で駆けぬける歓びと五感を満たすエンターテインメントの融合によって、究極的にエクスクルージブな体験を提供。お好みで選べる MY MODES で、気分に合わせて照明やサウンド、グラフィックなどの演出を楽しむことができ、リヤ・スペースに備わる 31.3 インチのシアター・スクリーンでの迫力の映像を愉しむことができる。最高出力 400kW、650km を超える航続可能距離。

MK グループについて

「MK タクシー」を運行するエムケイ株式会社は、1960 年京都で創業。事業としては、創業地である京都でボウリング場 1 ヶ所をはじめとするアミューズメント事業も手がけるほか、グループ会社として、京都でガソリンスタンド事業などを手がけるエムケイ石油株式会社、京都・大阪・神戸・愛知などで観光バスやスクールバスなどを運行するエムケイ観光バス株式会社を展開。

タクシー・ハイヤー事業では現在、国内 8 地域（京都、札幌、東京、名古屋、滋賀、大阪、神戸、福岡）にグループ会社を展開している。タクシー・ハイヤー・バスあわせ 2000 台を保有しています。

京都 MK ウェブサイト <https://www.mk-group.co.jp/>

東京 MK ウェブサイト <https://www.tokyomk.com/>

MK の SDG s に関する取り組み https://www.mk-group.co.jp/about/sdgs_ev.html

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクショントラックセンター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>